

ブロックごとの防災計画

δ (18戸)

601	602	603
501	502	503
401	402	403
301	302	303
201	202	203
101	102	103

ブロックごとの組織図

ブロック班長	自治会役員
ブロック副班長	前年度自治会役員
情報	次年度自治会役員
消火	
救出	
救護	
避難誘導	
給食	
清掃・衛生	
自警	
安否確認	

このページは防災訓練やアンケートなどで、ブロックごとに話し合い、記入していきます。災害時には可能なかぎり、ブロックごとに行動しますが、それぞれの事情で決めてください。係も同様です。

22 ご自身と、ご家族の事情を優先した上でご協力お願いします。

δの課題

δに必要な資機材

δ助け合いメモ

例；○○さん、要支援。声をかける。

HGH 居住者は全員が自主防災会員（自治会員）です。
災害時はまず、ご自身、家族の身を守り、
その上で救護、避難、配給などのご協力をお願いいたします

我が家の災害予測と防災計画

我が家の災害予測

_____ 家は
δ5 ブロックの ___ 階
最大津波予測は _____ メートル

家族と心配ごと

名前	心配ごと

地震がきたら

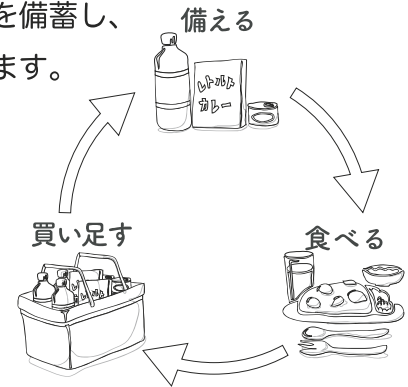
避難場所・集合場所（HGH の指定避難所は大磯高校）

我が家の備蓄

市と HGH 自主防災会では、災害時に備えて食料・飲料水等の備蓄を進めていますが、各ご家庭においても、1週間分を目安に食料・飲料水等を備蓄し、避難所へ避難する際には、ご持参いただくようお願いします。

食べて備えるローリングストック

食料品や日用品の備蓄は、いつも使うものを1週間から1ヶ月分を目安に買って置き、消費したら補充する「ローリングストック」をしましょう。

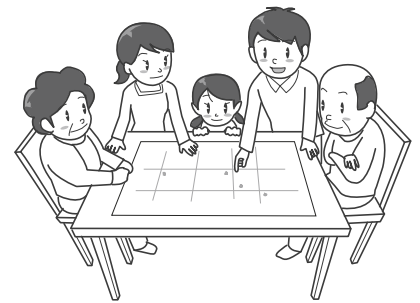


備蓄を置く場所も決めましょう

いざという時に、備蓄品が取り出せないと困ります。倒れそうな家具やガラスが無い場所、すぐに持ち出せる玄関など、災害時の行動を考えて置く場所を決めましょう。また、一ヶ所でなく、各自の部屋や車の中に分散させておくにより安心です。

好きなもの・必要なもの

備蓄の基本は、好きなもの、必要なものです。普段食べている好きなもの・必要な物を書き出して、備蓄計画に取り入れてください。非常食を試しに買って、食べ比べするのもおすすめです。



平塚市の備蓄

平塚市では、自宅が被災してしまい、用意していた備蓄品を持ち出せない市民がいることを想定し、市の備えとして、平常時から食料、飲料水、生活必需品、資機材などを各避難所等に分散して備蓄し、災害時に迅速な対応ができるようにしています。さらに災害時には、市と企業や団体などの物資等調達協定により、必要となる食料や物資を確保することとしています。

【防災倉庫・避難所の主な備蓄品】
長期保存食、飲料水、給水タンク、毛布、トイレ、発電機、投光器、ダンボールベッド、間仕切りテントなど

【協定先から調達するもの】
賞味期限が短いもの、保管に広い場所を要するもの、特殊性が高いもの

持ち出し品チェックリスト

- ◎非常持ち出し品は、両手が使えるリュックサックなどに入れましょう。
- ◎枕元などのすぐ手に取れる場所に置いておきましょう。
- ◎外出先で被災しても最低限行動できる物を常時携行しましょう。
- ◎災害発生時に最優先で持ち出す「一次持ち出し品」と避難生活が長引いた場合に自宅へ取りに行く「二次持ち出し品」に分けましょう。
- ◎「一次持ち出し品」は「あると便利なもの」ではなく「ないと困るもの」を用意しましょう。

いつも持ち歩くもの

- 携帯電話 携帯電話の充電器 現金 運転免許証 メモ帳・ペン
- 飲料水 携帯食料 笛(救助を求める場合などに使う) 避難カード

▼一次持ち出し品

<p><飲料水・食料></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>飲料水(緊急用として1人1L程度) <input type="checkbox"/>食料(緊急用) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>缶詰 <input type="checkbox"/>ビスケット・チョコレートなど <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <p><生活用品・衛生用品></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ライター・マッチ <input type="checkbox"/>アルミブランケット <input type="checkbox"/>筆記用具 <input type="checkbox"/>ビニール袋 <input type="checkbox"/>雨具 <input type="checkbox"/>タオル <input type="checkbox"/>衣類・下着 <input type="checkbox"/>洗面用具 <input type="checkbox"/>水無し口腔ケア用品 <input type="checkbox"/>非常用トイレ <input type="checkbox"/>ペーパー(トイレ、手拭き用) <input type="checkbox"/>使い捨てカイロ <input type="checkbox"/>ボディシート(体を拭く) <p><感染症対策用品></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>マスク 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>手指消毒液 <input type="checkbox"/>石鹼(ハンドソープ) <input type="checkbox"/>ウェットティッシュ <input type="checkbox"/>体温計 <p><救急医療品></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>絆創膏 <input type="checkbox"/>ガーゼ <input type="checkbox"/>包帯 <input type="checkbox"/>消毒液 <input type="checkbox"/>常備薬(鎮痛剤・胃腸薬等) <input type="checkbox"/>お薬手帳 <p><避難グッズ></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>懐中電灯 <input type="checkbox"/>ヘルメット・軍手 <input type="checkbox"/>スリッパ <input type="checkbox"/>ステッキなどの探り棒 <input type="checkbox"/>乾電池 <input type="checkbox"/>エアマット <p><貴重品></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>健康保険証 <input type="checkbox"/>マイナンバーカード <input type="checkbox"/>パスポート <input type="checkbox"/>預貯金通帳 <input type="checkbox"/>印鑑
---	---

▼二次持ち出し品

<p><飲料水・食料></p> <p><input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットル×1週間分)</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 食料(1週間分)</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><生活用品・衛生用品></p> <p><input type="checkbox"/> お皿・コップ・はし・やかん・鍋</p> <p><input type="checkbox"/> ラップ(食器に敷けば汚れない)</p> <p><input type="checkbox"/> ドライシャンプー</p> <p><input type="checkbox"/> 非常用給水袋</p>	<p><input type="checkbox"/> 寝袋</p> <p><input type="checkbox"/> カセットコンロ</p> <p><input type="checkbox"/> カセットコンロ用ガスボンベ(2日に1本)</p> <p><input type="checkbox"/> 固形燃料</p> <p><input type="checkbox"/> 非常用トイレ</p> <p><input type="checkbox"/> 耐燃性のあるポリ袋(パッキング用)</p> <p><工具類></p> <p><input type="checkbox"/> のこぎり・バール</p> <p><input type="checkbox"/> ペンチ</p> <p><input type="checkbox"/> ロープ</p> <p><衣類>…家族(特に子ども)の成長や季節に合わせ、必要なものを備えておきましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 下着・靴下</p> <p><input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン</p> <p><input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 毛布</p> <p><input type="checkbox"/> タオル・バスタオル</p> <p><あると便利なもの></p> <p><input type="checkbox"/> 新聞紙・段ボール</p> <p><input type="checkbox"/> 安全ピン</p>
---	---

▼家族構成や状況に応じた個別用品

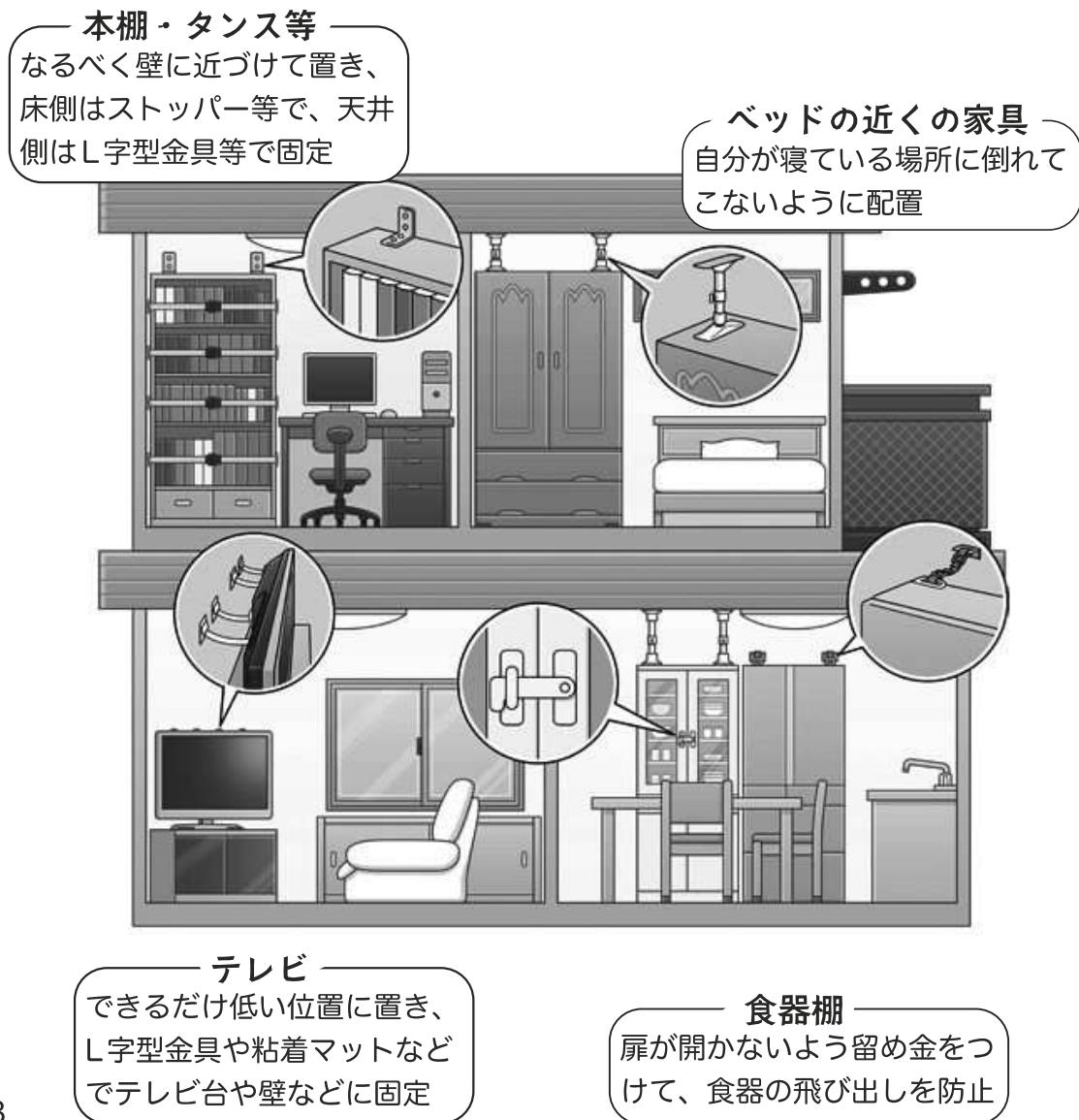
<p><女性></p> <p><input type="checkbox"/> 生理用品</p> <p><input type="checkbox"/> 防犯ブザー</p> <p><input type="checkbox"/> 化粧品</p> <p><持病・アレルギーのある方></p> <p><input type="checkbox"/> 症状に応じた薬</p> <p><input type="checkbox"/> アレルギー対応食品</p> <p><乳幼児></p> <p><input type="checkbox"/> 哺乳瓶</p> <p><input type="checkbox"/> オムツ</p> <p><input type="checkbox"/> 粉ミルク</p> <p><input type="checkbox"/> 液体ミルク</p> <p><input type="checkbox"/> おやつ</p> <p><input type="checkbox"/> おしりふき</p> <p><input type="checkbox"/> 母子手帳</p> <p><input type="checkbox"/> おもちゃ(小さなもの)、絵本</p>	<p><高齢者・要介護者></p> <p><input type="checkbox"/> 介護用品</p> <p><input type="checkbox"/> 常備薬</p> <p><input type="checkbox"/> やわらかい非常食</p> <p><input type="checkbox"/> 大人用おむつ</p> <p><input type="checkbox"/> 障がい者手帳</p> <p><ペット></p> <p><input type="checkbox"/> ペットフード</p> <p><input type="checkbox"/> ケージ</p> <p><input type="checkbox"/> リード</p> <p><input type="checkbox"/> 迷子札</p> <p><input type="checkbox"/> トイレ用品</p> <p><input type="checkbox"/> お手入れ用品</p> <p><input type="checkbox"/> 常備薬</p> <p>犬の場合は</p> <p><input type="checkbox"/> 鑑札</p> <p><input type="checkbox"/> 狂犬病予防注射済票</p>
--	--

ケガをしない、生活を守る転倒防止

地震発生時はケガを負ったり避難できない状況にならないことが大切です。平成28年に発生した熊本地震では、ケガや死亡の原因の多くが家具の転倒・落下によるものとされています。家具の転倒による被害は、事前の対策で軽減することができます。地震に強い家づくりをして、生活を守りましょう。

家の安全チェックポイント

- 扉の近く、廊下、寝室や子ども部屋にはなるべく家具を置かない。
- 家具の上にガラス製品など、壊れやすい危険物を置かない。
- 玄関の近くなど避難路を確保している。
- 家具を固定グッズを組み合わせて固定している。
- ガラスには飛散防止フィルムを貼っている。



我が家の転倒防止計画

	問題点 心配事	解決策 購入する物
玄関		
台所		
リビング		
トイレ		
風呂		

高台避難

津波が来るまでに時間がある場合、高台に避難することも考えてください。
平成23年度自治会では、高台避難訓練を実施しました。

平塚ガーデンホームズ 平成23年度防災訓練報告

- 1) 日時・参加者 平成23年11月20日(日) 9:30~11:10 晴 15名
- 2) 高台避難訓練に際して

【訓練の目的】

今年の3月に発生した東日本大地震以降、様々な防災組織が海岸地域で被災した場合には、「強い揺れ、長い揺れを感じた場合、迷うことなく自ら高い場所に避難する」ことを改めてその基本方針としています。

神奈川県で想定されている地震は津波を伴うものがほとんどですが、HGHは、コンクリート造6階建であることから、地域の中では耐震性、安全性が高く、被災後に建物の外に避難するよりは4階以上に留まっていた方が安全であるという意識を持つ方も多くいると思われまます。津波に対し、**高台に避難すべきかHGH4階以上(海拔想定約15m)に避難すべきか**という問題は、自らの被災状況(場所や時間)、津波の規模/到達時間等々によって異なるため、基本的にはご家族や個人の判断となります。今までの防災訓練では本震後にはすみやかに屋外に避難することをその方針としてきましたが、津波に対してはそれとは逆に建物内に止まる(上階への避難)ことも選択肢となるわけです。そこでこの訓練では、実際の高台避難を行なうと共に、それぞれの問題点を洗い出してみることで、避難に伴うリスクを認識し、ご家族やご自身が避難を想定される際の選択の一助になることを目的としました。

【避難方法別の想定されるリスク】

■高台避難

- ①自宅から敷地外へ、敷地から避難場所へ 避難ルートや避難場所にも危険性が多くあります。避難ルート上での被害(道路の陥没、建物の倒壊、電線の破断、CB塀の崩壊等)に加え、余震でのさらなる被害、避難場所の土砂崩れ等が想定されます。
- ②高台避難には前提条件があります。自宅被災の場合には、第1波到達までの時間が確保され、→要援護者や幼児等を伴って階下への避難が可能な場合になります。また、屋外での被災の場合には高台避難が時間的、安全上、家族の安否確認等からベターだと判断される場合になります。等

■4階以上*への避難

- ①HGHの耐震性は高いが、高波の直撃を受ければ、構造は残っても室内は甚大な被害を受ける可能性があります。(※避難する場合には少なくともその棟の最上階まで避難した方が望ましい)
- ②地盤の液状化、低地盤による停滞水等の恐れがあります。(別添海拔マップ参照)
- ③建物に留まれば、余震でさらなる被害を受ける可能性があります。
- ④大津波が押し寄せた場合、地形上、高麗山が内陸への防波堤になり、その返し波や引き波の動きは推測しにくいこともあげられます。
- ⑤HGHが地域の津波避難ビルになる可能性があり、その取り決めがない現状では、廊下のない住棟の階段では相当な混乱をきたす恐れがあります。等

3) 訓練内容

【避難ルート&避難場所】

自宅位置が集会所を境に前後で2班に分かれ、A班が北側(敷地最奥)の避難扉から、B班が南側(正面)から敷地外に出て、右図のルートで想定避難場所(A)に向い、その後(B)を確認しました。

【避難場所までの所要時間】

各自非常持ち出し品を携行し早歩きでの避難でありましたが、周辺状況(危険箇所等)を確認しながらの避難であったことから、HGH大池から避難場所(A)まで所要はAB班共に13分かかりました。

(目標は10分以内)

【避難場所の適正】

両方の避難場所共に急傾斜地を背にする状況ですが、平地の規模、視界、避難ルート上の危険度等から判断すると、避難場所(B)生涯学習館の方が安全性は高いという意見が多くありました。共に海拔約14~14.5mで概ねHGHの4階の床高さに相当します。



4) 防災ミーティング

訓練後に、訓練を通じて気づいたことや今後の課題等について話し合いました。

- 避難訓練の視点で避難場所やルートを見ると普段気づかないことが見えてくるように思う
- 非常持ち出し品は、軽量化しておくことは重要だと思う
- 非常持ち出し品は、ザック一つにすぐに持ち出せる状態にしておくことが重要
- 北側の避難扉は、鍵の管理の問題、くぐる際の有刺鉄線の危険性もあり、破壊錠を伴うフェンスに変更するよう理事会と協議していく
- 訓練頻度を高めたい(初動だけでも何か出来ないか)
- 防災無線が聞き取りにくいので、防災スピーカ(有線)の各戸への設置、あるいはHGH内での共有情報を受けとれる機器があるといい(防災無線情報は市の配信サービスがある*)
- 防災訓練に限らずHGHでは、参加者が少ないことが懸念される もう少し広報や啓発活動に工夫が必要
- 防災組織が機能するのはあくまでも被災後の復興過程であって、最も重要なのは初動における自助であることを改めて認識してもらうような啓発が必要 等

*PCから<http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/> 携帯から<http://scn-net.easymyweb.jp/pocket/k/>

情報収集

防災ひらつか(Twitter)

ツイッター(Twitter)から平塚市の防災情報が届きます。

【アカウント名】
@HiratsukaBosai



防災ひらつか(Web Sites)

市の防災への取り組みや、災害情報、気象情報が分かります

平塚市の気象情報



平塚市(LINE)

平塚市からのお知らせ、イベント、防災、大切な申告申請、観光情報、緊急情報などが届きます。市民生活に欠かせない情報をもれなく受け取るならラインで。



防災ひらつかチャンネル

(YouTube)

「楽しく簡単に」いつのまにか防災が身につきます。

普通に面白い、役に立つ、親子で観るなら、防災チャンネル！



災害用ダイヤル「171」 (忘れて「171」)

NTTが、災害発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供する、固定電話、携帯電話などから伝言の録音・再生を行えるサービスです。

災害用伝言板

災害時に通信各社の携帯電話などから安否情報の書き込みと閲覧ができるサービスです。NTTが提供しパソコンでも使えるWEB171もあります。

171をダイヤル

伝言を録音

1を入力
(暗唱番号を利用した録音は3)

被災地の方の固定電話の番号を市外局番から入力

続けて1#を入力
(ダイヤル式の電話の場合は1を入力しそのまま待つ)

伝言を録音

9#を入力して終了
(伝言を訂正する場合は8#)

伝言を再生

2を入力
(暗唱番号を利用した録音は4)

被災地の方の固定電話の番号を市外局番から入力

1#で再生開始
(ダイヤル式の電話の場合は1を入力しそのまま待つ)

伝言の再生

伝言をくり返し再生する場合は8#を、次の伝言を再生する場合は9#を入力
再生後にメッセージを録音する場合は3#を入力

伝言を登録

状態を選択
(100字以内のコメントを入力することもできる)

内容を確認し、登録
(事前に設定した相手に通知メールを送信することもできる)

伝言を確認

確認したい人の電話番号を入力

伝言板を確認

*操作画面は通信各社によって異なります。

NTTの提供する災害用伝言ダイヤルは、下記の日程で体験利用できます。

- 毎月1日・15日 各0:00~24:00
- 1月1日0:00~1月3日24:00
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間
(1月15日9:00~1月21日17:00)
(NTT東日本ウェブより)

付録について

1 HGH 周辺地図

津波の浸水予想エリア、避難所、津波避難ビルなどを入れた地図を、平塚中心と大磯中心の2枚用意しました。

逃げ地図の作り方

地震が起きた時に、地図の浸水エリア内にいたら、6分以内に浸水エリア外に出る最短ルートはどこでしょう？

通勤や通学、買い物などで、よくいる場所から最短ルートを探し、線を引きます。実際に、6分以内にエリア外に出れるかどうか、歩いてみてください。


詳細な浸水予想は各戸に配布済みの平塚市津波ハザードマップをご覧ください。新しい地図や拡大地図が必要な場合は、担当ブロック役員、管理事務室、または自治会HPの問い合わせにご連絡ください。

2 避難カード

災害時の連絡先や避難所、注意事項などを書き込んで、いつも持ち歩きます。

1枚で2人分です。足りない方は印刷しますので、ご連絡ください。また、今後、自治会HPでもアップ予定です。

記入例（お子様用）

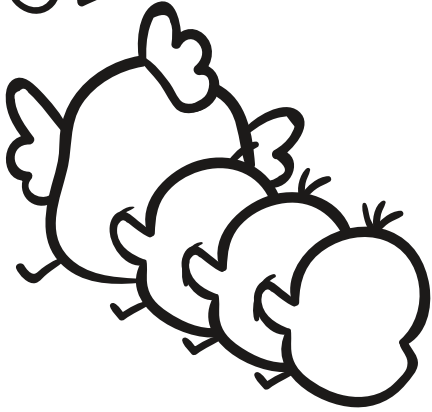
災害時タイムライン		家族や連絡する人	
○ 学校	にいたら、 <u>学校にいろ</u> 線路にむかって	名前	連絡先やすることなど
○ 外	にいたら、 <u>走り</u> つなみけいぼうが無くなるまでは 家に戻らない。 ちびっこ公園が、○○ちゃんの家 <u>知らない人にはついていけない！</u>	いちろう 一郎	パパ 0463***** △☆商事
		はるみ	ママ △☆商事 平塚2-**- 090*** ****
		かおり	おばあちゃん 090*** ****
		ペット 車	

いのち 命をまもる お約束

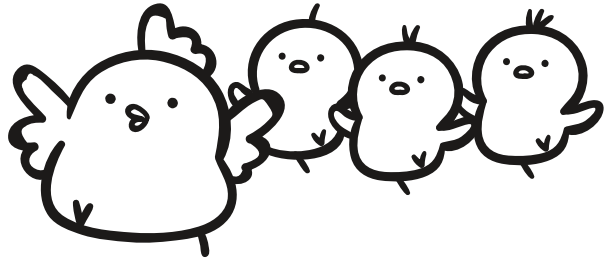
やくそく

おはしもち

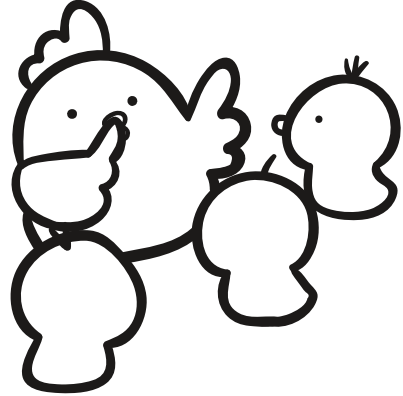
おさない



はしらたい



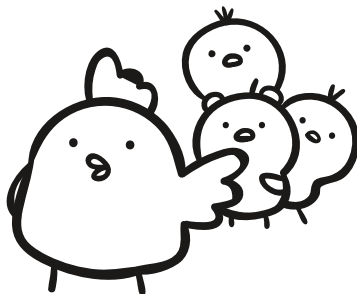
しゃべらたい



もどらたい



ちかづかたい



書く足す進化型
防災計画

避難カード

平塚ガーデンホームズ自治会

名前(ふりがな)		
住所	電話番号 家の電話 携帯	
生年月日 年 月 日	血液型 型	メールアドレス

家族の集合場所(HGHの指定避難所は大磯高校)	連絡方法 災害伝言ダイヤル 171 暗唱番号
アレルギー・既往症・怪我・特に必要な支援など	

避難カード

平塚ガーデンホームズ自治会

名前(ふりがな)		
住所	電話番号 家の電話 携帯	
生年月日 年 月 日	血液型 型	メールアドレス

家族の集合場所(HGHの指定避難所は大磯高校)	連絡方法 災害伝言ダイヤル 171 暗唱番号
アレルギー・既往症・怪我・特に必要な支援など	

災害時タイムライン

- _____ にいたら、 _____
- _____ にいたら、 _____

家族や連絡する人

名前	連絡先やすることなど
ペット 車	

災害時タイムライン





- _____ にいたら、 _____
- _____ にいたら、 _____

家族や連絡する人

名前	連絡先やすることなど
ペット 車	



地図上のマーク

-  線の内側は津波浸水予想エリア
-  津波避難ビル
-  学校
-  歩道橋

